

課題名	バイオコンピュータに関する基礎研究.
	Basic Study on Bio-computer.
利用者名	今泉重夫 (社会学部産業社会学科・教授)
<p>1. 研究目的・内容 現在、広く利用されているノエマン型コンピュータは種々の問題があることがわかり、生物機能を取り入れたバイオコンピュータが最近、開発されつつある。その基礎研究を行っている。</p> <p>2. 研究方法・計算方法 バイオコンピュータ用の素子を生体膜・人工膜より開発し、その特性を測る作業を行っている。そのため、データの当てはめプログラムとデータ解析プログラムを使った。</p> <p>3. 研究成果 口答発表 1. 第25回記念熱測定討論会(大阪大学, 1989. 11. 2.) "ミセル系液晶(CsPFO)の相転移付近での熱容量について" 今泉重夫, C. W. Garland.</p> <p>4. 発表・出版実績 Shigeo IMAIZUMI, Carl W. Garland : " Heat Capacity Associated with Phase Transitions in Micellar Cesium Perfluoro-Octanoate Solutions" J. Phys. Soc. Jpn. <u>58</u> p597 (1989).</p>	